関係各位

平素　（一社）ロシアNIS貿易会へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、過去数年にわたり当会では経済産業省の助成による「中央アジア地域等貿易投資促進事業」を実施、この枠内で「日本トルクメニスタン投資環境整備ネットワーク」（[http://www.jp-tr.org/](http://www.jp-kz.org/index.html)）を通じた皆様への情報提供、経済合同会議の開催（<http://www.jp-tr.org/conference/index.html>）等、二国間の貿易投資関係発展を目的とした活動を進めてまいりました。

つきましては、これら一連の事業の内容充実を図るため、また現在、５月23～24日にアシガバードで開催を予定し、準備を進めております「第13回日本トルクメニスタン経済合同会議」のため、関係企業の皆様にトルクメニスタンの投資環境に関わる評価、実際の進出状況、ならびにこれらに関わるご意見・ご希望等を伺う、添付アンケート回答へのご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

ご多忙のところ誠に恐縮ながら、ご回答は**３月22日（金）**までにメール（central-asia@rotobo.or.jp）

あるいはFAX（03-3555-1052）にて当会宛、お寄せ下さい。

ご不明の点は下記担当者宛てにご照会下さい。

以上、ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

（一社）ロシアNIS貿易会

日本トルクメニスタン経済委員会　事務局

担当：　原、輪島、森

(注) 本アンケート実施に当たり、個人情報の取扱いには充分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません。

寄せられたご回答は、「第13回日本トルクメニスタン経済合同会議」開催のための調査データとして利用されるほか、

中央アジア地域等貿易投資促進事業の今後の活動計画検討のため、当会及び関係省庁・機関において共有されます。

ご回答者に限り、一部結果のフィードバックをさせていただきますが、全データが一般公開されることはありません。

締　切：平成３１年３月２２日（金）

送付先：（一社）ロシアＮＩＳ貿易会　ロシアＮＩＳ経済研究所（担当：原、輪島、森）

FAX ： ０３－３５５５－１０５２　　　　　　　E-mail ： central-asia@rotobo.or.jp

**トルクメニスタン投資環境評価および「第13回日本トルクメニスタン経済合同会議」に関する**

**調査票**

**Ⅰ.　回答者情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 貴社名 |  |
| （一社）ロシアNIS貿易会 | A．会員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　B．非会員 |
| 日本トルクメニスタン経済委員会 | A．会員　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　B．非会員 |
| ご記入者名 |  |
| ご所属・お役職 |  |
| TEL |  | FAX |  |
| E-mail |  |

**Ⅱ.　対トルクメニスタン進出状況**

◆御社は、トルクメニスタンとビジネスを：

 A.　現在行っている　→　**設問あ群**にお進みください。

 B.　過去に行った経験がある　　→　**設問い群**にお進みください。

 C.　行っていない（行った経験がない）　→　**設問う群**にお進みください。

（注）AとBは複数選択可。

◆**設問あ群**：御社が現在、トルクメニスタンと行っているビジネスについて以下の設問にお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| １.事業内容（複数回答可） | A. 直接投資　　　　　B. 日本からの輸出　　　　C. 日本への輸入　　　　　D. 現地における建設受注（プラント改修等含む）　　E. .その他 |
| ◇可能ならば内容を具体的にご記入ください。 |
| ２.事業開始時期 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）年 |
| ３.現地における体制 | A. 100％子会社　　　　　B. 合弁企業　　　　　C. 駐在員事務所　　　　　D. その他 |
| ４. ビジネスにおける今後の見通しは（注）「B. 現在のビジネスの規模を維持」につきましては、肯定的要因・否定的要因いずれからでも、最もご事情に適合するものをご選択ください。 | A. 現在のビジネスの規模を拡大　 B. 現在のビジネスの規模を維持C. 現在のビジネスの規模を縮小　　 D. 現在のビジネスから撤退　　　E. 更に新たなビジネスを開始 |
| →　上記でAあるいはBを選択された場合、その理由は（複数回答可）；a. 営業成績が良い　　　 b. トルクメニスタンの経済状態が良い/良くなる見込み　　c.　現地側のビジネスに関わる法制度が良い/改善された（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）d.　c以外のトルクメニスタン投資環境の良好さ/改善（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）e. 国際的要因（国際市況、周辺国の政情等） f.　日本側の要因（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）g.　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| →　上記でB、CあるいはDを選択された場合、その理由は（複数回答可）；a. 営業不振　　　 b. 現地側パートナーとのトラブル　　　c. 現地政府とのトラブル d.　現地法制度の問題e.　d以外のトルクメニスタン投資環境の問題（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）f. 国際的要因 g. 不慮の事故・天災　　　h. 日本側の問題（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）i. 事業の完了/契約期間の満了等ｊ. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　） |
| →　上記でEを選択された場合、その事業内容は； |
| ５. トルクメニスタンのビジネス環境を総体的にどのように評価なさいますか。 | A.　良い　　　 B.　どちらかと言えば良い　　　C.　どちらかと言えば悪い　　　 D.　悪い　　　E.　分からない |
| ６. トルクメニスタンのビジネス環境について、良好であると感じている事項は（複数回答可）； | a.　豊富な天然資源　（具体的に：　　　　　　　　 　　　　　　　　　　）　　　b. 大きな市場　　　 c. 高い技術力　　　d.　安価で豊富な労働力 e.　勤勉で有能な人材　f.　有望な現地企業の存在　 g. 近隣市場へのアクセス/地理的条件h.　運輸・通信等の産業インフラ　 i.　国内政治の安定j.　政府の経済・産業政策 k. 政府の外資誘致策ｌ.　整備された法制度　　　　　 m. 治安の良さ　　n.　対日感情　　　　　　　　　　　　　　　　　　o.　日本人に対する査証関連制度p. 日本との間の交通の便の良さｑ. 日本政府の経済支援策（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）ｒ. その他（具体的に：　　 　　　　　　　　）　　　　ｓ. 特にない |
| ◇上記で選択された項目について、具体的コメントがあればご記入ください。 |
| ７. トルクメニスタンのビジネス環境について、問題がある、又は不安があると感じている事項は（複数回答可）； | a. 国内政治情勢 b. 国際情勢 c. 経済情勢 d. 社会・治安情勢 e. 腐敗・汚職 f. 貿易投資関連法制g. その他の法制度 h. 事業に対する政府の干渉・介入 i. 政府の経済政策 j. 政府の外資誘致策 k. 許認可等の行政手続き l. 通関手続き m. 出入国手続き（査証） n. 労働許可o.　法令の解釈・運用 p. 金融制度 q.　貿易決済/海外送金 r. 外貨交換ｓ 対日関係 ｔ.　対日感情 u. 日本政府による進出支援策の不在／不足 v. 市場規模 w. 運輸・通信等の産業インフラx. その他のインフラ（具体的に　　　　　　　　　　　 　　　　　） y. 企業のビジネスモラル z. 知的財産権の侵害aa.　労働力（量・質） ab. 労働争議ac.　労働者の賃金 ad. 競合者の存在　 ae. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） af. 特にない |
|  | ◇上記で選択された項目について、具体的コメントがあればご記入ください。 |
| 8. 今後の二国間ビジネス促進のために、効果的だと思われる施策は（複数回答可）； | a. 相互の査証緩和措置の導入 b. 日本企業に対する現地側の特別優遇措置の設定　c. 日本企業に対する日本政府による進出支援策の充実d.　二国間経済委員会の活動活発化e. 政府要人の往来の活発化　f. その他　（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

◆**設問い群**：御社が過去、トルクメニスタンと行っていたビジネスについて以下の設問にお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| １.事業内容（複数回答可） | A. 直接投資　　　　　B. 日本からの輸出　　　　C. 日本への輸入　　　　　D. 現地における建設受注（プラント改修等含む）　　E. .その他 |
| ◇可能ならば内容を具体的にご記入ください。　 |
| ２.事業実施時期 | （　　　　　　　　　　　　　　　）年～（　　　　　　　　　　　　　　　）年 |
| ３ 撤退・中止理由（複数回答可） | a. 営業不振　　　 b. 現地側パートナーとのトラブル　　　c. 現地政府とのトラブル d.　現地での法制度の変更　　e. 国際的要因 f. 不慮の事故・天災　　　g. 日本側の問題　　　 h. 事業の完了/契約の満了i. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

◆**設問う群**：以下の設問にお答えください。

|  |  |
| --- | --- |
| １.トルクメニスタンに対するビジネス方針について | A. 近いうちにビジネスを開始する予定　　　B. 将来的にビジネスを開始することを検討中C. 当面ビジネスを行うことは考えていない |
| →　上記でAあるいはBを選択された場合、その事業内容は； |
| →　上記でCをされた場合、その理由は（複数回答可）；a. ビジネス対象が見出せないから　　 b. 貿易投資環境の整備が遅れているから　c. 現地の経済状態が悪いから 　 ｄ. 言語・文化・民族的障壁を感じるからe. 対日感情が懸念されるから　　 f. 治安が懸念されるから　　　g. トルクメニスタンに関する情報が不足しているから　　　h. 外交関係が懸念されるから i. 地理的に日本から離れているからj. その他（　具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２. トルクメニスタンとのビジネスについて、関心がある分野は（複数回答可）； | a. 石油・天然ガス開発　　　 b. 化学・石油化学　　　c. 鉱物資源開発・加工　　　 d.　電力事業e.　家電器機製造 f.　自動車・自動車部品製造　g.　その他機械機器製造　　 h.　繊維i.　食品等、農産品加工（hを除く） j.　その他製造業k. .インフラ整備　 l.　建設関連　（kを除く）m. 不動産　 n.　運輸・物流　　o.　情報通信　　 p.　サービス・小売業q. 金融・保険 r.　その他（　具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　t. 特にない　 |
| ３. 今後の二国間ビジネス促進のために、効果的だと思われる施策は（複数回答可）； | a. 相互の査証緩和措置の導入 b. 日本企業に対する現地側の特別優遇措置の設定　c. 日本企業に対する日本政府による進出支援策の充実d.　二国間経済委員会の活動活発化e. 政府要人の往来の活発化　f. その他　（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**Ⅲ.　「第13回日本トルクメニスタン経済合同会議」（以下、合同会議）について**

* **2019年5月23～24日、第13回合同会議の現地アシガバードでの開催が予定されています**。
* トルクメニスタンを含む中央アジアとの間の二国間経済委員会については（一社）ロシアNIS貿易会ウェブサイト（<http://www.rotobo.or.jp/activities/committees/index.html>）をご参照ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 御社は、これまでロシアNIS貿易会（ROTOBO）が組織するトルクメニスタン関係の会議/イベントに
 | A. 参加したことがある　　　　　　　　　　B. 参加したことがない |
| ⇒　Aとご回答の方、以下より参加した会議/イベントを全てご選択ください。①過去の日本トルクメニスタン経済合同会議②日本トルクメニスタン・ビジネスフォーラム（2018年７月、於東京）③その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ⇒　Bとご回答の方、以下よりあてはまるものをご選択ください。①他の国の会議/イベントならば参加したことがある　　※以下より当てはまるものを全てご選択ください。ロシア　　カザフスタン　　ウズベキスタン　　アゼルバイジャン　　　　　　　　その他（具体的に）：②全く参加したことがない |
| 1. 御社は、第13回合同会議（5月23～24日、現地開催）に
 | A. 参加する　　　　　　B. 参加しない　　　　　C.　未定 |
| 1. 第13回合同会議について
 | ３-１.　トルクメニスタン側プレゼンテーションについて、関心のある事項をご選択ください　（複数回答可）a. トルクメニスタン経済の現状と展望b. トルクメニスタンの全般的経済・金融政策c.　トルクメニスタンの石油・天然ガス関連政策d.　トルクメニスタンのcを除く産業政策e.　トルクメニスタン側の日本企業を含む外国投資誘致に向けた取組み、優遇策f.　トルクメニスタン政府の対日政策ｇ.　トルクメニスタン政府あるいは企業からの新たな事業提案 h. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ３-２.　日本側プレゼンテーションについて、関心のある事項をご選択ください（複数回答可）a. 投資環境整備に関する取り組み（投資の阻害要因となっている現地法制度の改正申し入れを含む）b. 経済協力（円借款・輸出信用等を含む）についてc.　a,b以外の日本政府の対トルクメニスタン政策方針についてd. 既にトルクメニスタンへ進出している企業等からの報告ｅ.　自社のＰＲ・紹介、あるいは事業提案をしたいｆ. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  | 3-3.　トルクメニスタン側、日本側を問わず、発表者・企業のご希望があればご記入ください。※ トルクメニスタン側については、別紙「トルクメニスタン閣僚人事」をご参照のうえ、ご希望があれば役職・氏名まで具体的にご記載ください。 |
| 1. 第13回合同会議において、報告を希望される可能性がありますか？
 | A. 報告を希望する（テーマ：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）B. 報告を希望しない　　　　　C.　現状では未定 |
| 1. 第13回合同会議において、案件の署名式を行う可能性がありますが、現時点において御社は、署名式での署名を
 | A. 希望する　　　　　　　B. 希望しない　　　　　　　C　未定→　Aをご選択の場合、追って事務局よりご連絡させていただきます。 |
| 1. 第13回合同会議においては、会議翌日（5/24を想定）に、現地の生産施設等の視察を予定していますが、現時点において御社は、視察への参加を
 | A. 希望する　　　　　　　B. 希望しない　　　　　　　C　未定 |
| →　上記いずれをご選択の場合でも、視察先のご希望があればご記入ください。 |
| 1. その他、第13回合同会議全体を通じてのご意見、ご要望等があればご記入ください。
 |  |

※個人情報の取扱いには充分注意し、当案件以外の目的では使用いたしません。

※ご協力まことにありがとうございました。